



令和6年7月1日
目黒区立駒場保育園 園長

園庭では、様々な夏野菜や稲がぐんぐんと生長中です。日々、きゅうりやピーマン、トマトが実り、塩もみやごま油炒め、みそ味等で調理したものを食べています。緑の野菜はちょっぴり苦手だけど、自分たちで育てた野菜を友達と一緒に食べることで「おいしいね」「あれ？苦くない」と食べられる野菜の種類も増え、食の幅も広がってきているようです。夕方の玄関でも、給食のサンプルケースの前で0歳児が食べたものを指差しして教えたり、1歳児が「パンパン（パン食べた）」とケースをのぞき込みながら伝えています。「これ、食べたのね。いっぱい食べたかな」という保護者の方の声に、頷いて答えていたり「今日は全部食べたんだよ。ピカリンにしたよ」「おうちでも作ってね」など楽しい会話が繰り広げられている声を聞くと、調理師ともども嬉しい気持ちになります。先月から保育参観が始まっているクラスでは年に一度、保護者の方も保育園の味を知っていただけるよう、給食の試食を行っています。4.5歳児クラスでは子どもたちと一緒に食べるので「今日は誰が来るかな」「どこに座るの？」と楽しみにしているようです。試食後のアンケートには「やさしい味でした」「素材を生かした薄味だったので、家でも同じくらいにしてみようと思います」「家を出す人参の大きさより大きめだったので食べるかなと意識して見ていたら、なんとその人参からペロリと全部食べていて、大きさや固さもちょうどいいのだと思いました」など嬉しいご意見をいただきました。秋以降にも保育参観を行いますので、是非保育園の給食を試食してみてください。

今年度、駒場保育園はよりよい保育サービスの実施を目指して、東京都福祉サービス第三者評価を実施します。保護者の皆様にも利用者アンケートを今月25日（木）にお配りいたしますので、ご協力をお願いいたします。



- プール開き・水遊び開始
- 七夕集会
- 笹送り
- 0歳児健診
- 中旬 避難訓練・身体計測

◎「七夕」の短冊は一人につき2枚配布します。
記入しましたら、お子さんと一緒に笹に飾ってください。



～ 育てているナスを見ながら ～
ナスがうまれたね。
おおきなナスがうまれたんだよ。
さくら組（3歳児）

夏にかかりやすい感染症

ヘルパンギーナ
急な高熱と、のどの痛みが主な症状で、食欲が低下し、咽頭に水泡等がみられます。
保護者記入による登園届が必要です。

咽頭結膜熱（プール熱）
感染力が強く昨年度流行しました。急な高熱と、のどの痛みと共に目やにや目の充血や首のリンパ節が腫れます。医師記入による登園許可書が必要です。

手足口病
口の中や手のひら、足の裏、おしり等に小さな水疱ができ食事がとりにくくなります。
保護者記入による登園届が必要です。

☞ **虫よけのワンポイントアドバイス** ☞

- 登園前に防虫スプレーをする。
- 肌を出さない服を着る。
- 刺された時は必要に応じて薬をぬり、とびひなどに移行しないようにしましょう。



《戸外遊び（泥んこ、探索、園庭）の様子》

今月は、0歳・1歳・5歳児クラスの様子をご紹介します。



ひよこ組（0歳児）

「見て 触れて 楽しんで」

園庭の花壇の前で「お花きれいね」と声をかけると、指でちょんちょんと触れたり、引っ張ってみたりしています。地面に映った葉っぱの影が揺れるのを不思議そうに見ている姿があり「面白いね」「葉っぱがゆらゆらしているね」と子どもの発見を言葉にすると「あー」と答えて嬉しそうな表情を浮かべています。探索が盛んになり、かごの中から次々と玩具を出してお気に入りのものを取ってみたり、保育士の手の平に土で型抜きを作ると、にこっと笑って崩すことを楽しんでいます。“もっと”と期待して保育士を見るので

「もう一回？」とたずねると、人差し指を立ててリクエストする姿からも楽しさが伝わってきます。今後も子どもたちの気持ちに共感しながら泥や水などの感触遊びや楽しい経験をたくさんしていきます。



ちゅうりっぷ組（1歳児）

「どろんこあそび」

水を張ったタライに砂を入れると、少しずつ透明の水が濁り始めます。「あれ、なんだか面白そう」と子どもたちも手を入れてかきまぜていました。泥への抵抗はなかったようですが裸足で砂地を歩くことが苦手なようで、少しでも足に泥がつくと足をバタつかせて泥をとろうとしていた子どもたちでした。回数を重ねるごとに裸足にも慣れ、今では水たまりの中にバシャバシャと足を踏み鳴らしながら足裏で泥の感触を楽しみ、跳ね上がる泥を見て嬉しそうに声をあげ笑顔の花があちらこちらで咲いています。保育士が子どもの足の甲

を覆うように泥を乗せて

「〇〇ちゃんの足が見えないね。どこだろう」と言うと、手で泥を払い落として保育士の方を見てニヤリと笑っています。「足あったね」と言うと「エヘッ」と満面の笑みを見せるなど、友達や保育士と感触遊びを楽しんでいます。



ひまわり組（5歳児） 「太鼓橋遊び」

太鼓橋で遊ぶ事が大好きな子どもたちは、1番高いところまで登り、そこからぶらさがって地面に降りる、という遊びを楽しんでいます。昨年のひまわり組のお兄さん、お姉さんがやっていたのを見ていて、すみれ組の頃から「ひまわりになったら、やってみよう」と思っていたようです。上った時、下に友達がいると「降りるから危ないよ」と周りを確認して声をかけています。また上っていった時に、反対側からも友達が上ってくると、「どっちが先に降りる？」「私、2回目だから先に降りていいよ」「ありがとう」と自分たちで順番を決めて楽しんでいる姿も見られます。繰り返し遊んでいると、ぶら下がった状態からうんてい遊びのようにバーを1つ飛ばしや2つ飛ばしで進んでいくことに挑戦する子もいます。また、ぶら下がった体勢で前後に体を揺らし、バーに足を掛けると「見て、足掛けられた」と見せてくれたり、さらに頭と体を持ち上げてぐり抜けることにも挑戦していました。見ていた周りの子どもたちも「すごい、やってみたい」と興味を持ち、一緒に新しいことに挑戦したり、繰り返し楽しんだりしているひまわり組です。

